

学校教育目標
「一人一人の個性を伸ばし、
自ら学ぶ生徒の育成を図る」

1. 「自ら学ぶ生徒」(知)
自律的で思考力に富む人間
2. 「心豊かな生徒」(情)
心豊かな潤いのある人間
3. 「よく働く生徒」(意)
たくましく実践力のある人間
4. 「体を鍛える生徒」(体)
健康ではつらつとした人間

敷島中「学校だより」 **報** <NO. 5>



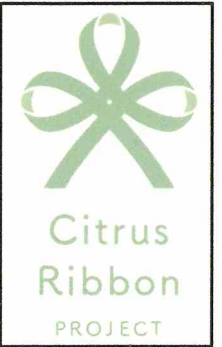
令和2年12月7日
文責 中満 一幸



「敷島中ホームページ」へアクセス



「おはようございます! こんにちは! ありがとう!」
「ただいま! おかえり!」 家族や仲間の心を笑顔でつなぐことば

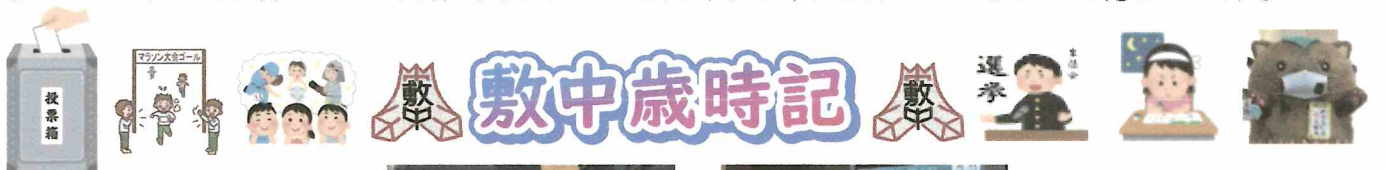


「当たり前と思っていたふだんの暮らしを揺さぶっているCOVID-19。たとえウイルスに感染しても、だれもが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会に。そんな願いから「シトラスリボンプロジェクト」は生まれました」と、この活動を進める【ちょびっと19+】の方が運営するホームページに綴られたことばです。愛媛県の大学関係者や有志のみなさんがはじめた「シトラスリボンプロジェクト」。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけ、温かい言葉のよびかけで気持ちを表す活動を広めています。リボン3つの輪は、**地域と家庭と職場（学校）**を表現しているそうです。温かい言葉をかけ合える場があれば、感染拡大を防ぐことにつながるともお考えです。さらに、**感染者への差別や偏見が広がることで生まれる被害も防ぎたい**ともお考えです。**とくに注目すべきは、感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された「その後」に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると。**コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の“その後”も見すえ、**暮らしやすい社会をめざしませんか?**と活動内容が示されています。また、サポーターとしての活動の具体も紹介されています。シトラスリボンの作り方もYOUTUBEの動画もあります。

先日、この活動を進めていらっしゃる代表の方にメールを送り、学校だよりで紹介させていただけますかと伺ったところ、快くご承諾をいただき、上記のロゴ使用のご許可もいただきました。

生徒のみなさんには、学校生活において、【うがい、手洗い、マスク着用や消毒、三密を避ける】など一人一人が意識を持った取組をすでに実行していただいています。教室でも【除菌、換気、加湿(加湿器+水スプレー+濡れタオル+フェルト加湿)】など様々な取組もあります。

今後は、自分のため、みんなのためにできるアクション(行動)を自分たちの手でおこなってみませんか? 学級が、学年生徒会が、学校生徒会が「シトラスリボンプロジェクト」に賛同したサポーター活動からはじめてみませんか! 生徒のみなさんにはすでに笑顔で「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」など、互いのことばかけがあります。私たち、敷島中から生徒同士、生徒と先生、保護者や地域の皆さんに、自分の【意志】を持って発信できる【明るい笑顔】を届けませんか! 今できることをみんなの手で進めてみましょう。以前学校だよりで紹介した絵本作家ヨシタケシンスケさんの『STAY HOME』のことばにも「あなたは、世界に1人しかいない【あなた自身の専門家】として、あなた自身にとって、……何が希望につながるのか」を日々研究していただきたい」とありました。そして、1学期始業式でお話した【自ら行う・みんなで行う・ほめあう】ことを大切にしてください。『やさしい心・つよい心』を持つための具体的なアクションを実行する時がまさにやってくると感じています。



選挙ポスター(顔写真付)
生徒会役員選挙

立候補受付

1年福祉講話(12月4日)

「鍛練」3年生(11月19日)

2学期期末テスト(11月30日・12月1日)

2年職業講話(11月26日)

職業調べ新聞(2年生)

※これからも、学校からの情報をホームページ等にあげていきます。ご意見等お寄せ下さい。